

井尻公民館だより

(2026年3月1日発行)

〈令和8年 3月号〉

(第264号)

〈連絡先・問い合わせ先〉

館長 古屋 宗克 ()

主事 水上 由人 ()

春風や いろいろの香を そそのかし 加賀千代女



三月は年度の締めくくりと異動の季節。十一日は公立中学校卒業式
十二日は県立高校合格発表・十九日は公立小学校卒業式。

絵手紙愛好会 古屋典子

3月の歳時記… 3日桃の節句、5日啓蟄、17日彼岸の入り、20日春分の日

23日彼岸明け

今年の干支（午）馬と井尻の競馬



井尻小学校の西寄りには昔雑木林で、諏訪神社の境内に続いていて寂しい場所であった。現在の県営住宅の北に円形の場所があった。周囲の柵は木の杭を打ち込み、杉丸太を結びめぐらした馬場で、立ち木を利用した棧敷まであって、当時としてはなかなか立派なものであった。

村内でも相当高価な馬を買い入れ、競争していわゆる足の速い馬の飼育にはげんだ。競馬が開かれる頃になると、村内、近郷近在は勿論、県下より同好の士が駿馬を連れて集まりにぎやかに競馬が挙行された。開催中は馬主及び一般の来客が村内に宿泊し、露店も沢山出て、井尻の競馬と言って土地の自慢の一つであった。観光料など取らず、なごやかでなかなか賑やかなものであった。いつ頃から始まり、どのくらい続いたのか定かではないが、競馬が廃止されてからの馬場だけは数年残っていて付近の子供たちの遊び場であった。当時の役職や氏名を記載した板が関係者の手元に残されている。

明治42年第4月4日 競馬役割表

決勝掛4名、入馬掛5名、馬〇〇督3名、賞掛4名、〇〇掛1名

〇〇掛2名、会計並受付4名、〇〇締2名（以上ですが〇〇の部分是不明瞭の所）（参照・・・昭和54年 井尻公民館・松里公民館編集 松里の昔ばなし より）

※井尻の競馬について伝え聞いた話・資料などありましたら公民館主事または館長にご連絡をお願いします。

甲州市生涯学習推進大会「童謡フェスティバル」

参加された皆さんご協力ありがとうございました❀



熱のこもった練習風景(心が一つになり一段と上達!) 心も温かく元気に、若さが増しました。

当日は、二十名の中に教育長小林様ご夫妻も加わり井尻地区の皆様から、客席にほっこりする歌声をお届けすることができました。ご参加をして頂きました皆様心から感謝を申し上げ簡単ではありますがお礼の言葉とさせていただきます。

3月の予定 空いている所は入れます予約は事前連絡をお願いします

3月 予定表				午前	午後	夜間
日・曜	午前	午後	夜間	16・月		
1・日				17・火		ダンス 19:00~ 和
2・月				18・水	書道 15:00 ~ 和	19:00
3・火			ダンス 19:00~ 和	19・木		
4・水		書道 15:00 ~ 和	19:00	20・金		
5・木				21・土		
6・金				22・日		
7・土				23・月	太極拳 13:00~14:30 和	ダンス 19:00~ 和
8・日		太極拳 13:00~14:30 和		24・火	手芸 13:00~ 和	19:00~ 和
9・月			ダンス 19:00~ 和	25・水	書道 15:00 ~ 和	19:00
10・火				26・木		
11・水		書道 15:00 ~ 和	19:00	27・金		川柳 19:00~ 和
12・木				28・土		
13・金		手芸 13:00~ 和		29・日		
14・土				30・月		
15・日				31・火		ダンス 19:00~ 和

川柳 (甲州市川柳えがおの会)

福まねく猫の前足奥ゆかし

(田辺たみ子)

仕事終え猫背で歩む帰り道

(古屋典子)

情けない猫撫で声にだまされた

(雨宮江身子)

保護猫が語る生い立ち浪花節

(石垣まさ子)

私でもジベ付け摘粒猫の手に

(佐藤浩美)

猫ばばかアメリカカファースト大義なし

(関口正次)

殿方は猫なで声に即イエス

(飯島武志)

短歌

健康で長生きするは良けれども

人は人なり吾は吾なり

卒寿なる友は言うなり一年で

君も来るなり異種の世界へ

(久保晃)

晴天が永らく続き雨不足

気候変動心配となる

二月にはミラノ五輪が始まりて

進化する技日々感動す

(古屋和子)

俳句

子らが住む東の空や春の星

(飯島武志)

亀鳴くや雲割れふいに川の音

(飯島和子)

酌む屋台メガネぼやける春の星

(増田英仁)

逝くひとの軽重如何に春の星

(小林昂平)

樹の虚に苔眠らせて春の星

(鶴田光子)

亀鳴くや深き森より侏儒二人

(三柵 淳)

